

りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙

第144号

14. **12** .22

Contents

- P2
生活クラブの健康な食デザイン・ピオサボ「みんなで「さくら卵」を食べて、国産鶏種を守っていきましょう！」
- P3
エスコープ発見伝 vol.9
「完璧な親なんていない! Nobody's Perfect Program」を開催して
- P4
韓国ウリ農交流&MOP7参加
第7回理事会報告
店舗の営業案内/おたよりネット

21年目に向かう、 遺伝子組み換え反対運動の課題

1996年に遺伝子組み換え作物(GMO)の問題が知るところとなり、この年からエスコープ大阪では遺伝子組み換え(GM)反対運動をすすめています。カタログ『LIVELY』では、ほとんどがGM対策済みでNON-GMが当たり前かのように、私たちの運動を取り巻く状況はますます厳しくなっています。世界で一番GMOを輸入していると言われる日本。NON-GM飼料は日本全体からみるとなにより等しく、添加物ではGM技術が多用されているにも関わらず、食品表示では見分けられない。生活クラブ千葉の元副理事長で、「食品表示を考える市民ネットワーク」などにに関わり、昨年「たねと食とひと@フォーラム」(以下、@フォーラム)を立ち上げられた西分千秋さんにお話を伺います。



共同代表
たねと食とひと@フォーラム
西分千秋さん

食品表示法ができて GM表示は何も変わっていない

岡 今のGMに関する動きや問題点についてお聞かせください。
西分 GMの食品表示の問題について運動を始めたのは日本(私たち)の方が早かったと思いますが、2012年から米国でGM表示を義務付ける市民運動が活発になっています。11月4日にはオレゴン州とコロラド州でGM表示義務化の賛否を問う住民投票がおこなわれ、一旦否決されましたが、オレゴン州では投票数を数え直すことになりました。4月にはバーモント州で初めて可決され、ハワイ・マウイ郡ではGMO栽培を禁止する法案が僅差で可決されました。表示となると消費者よりも「モンサント」や「デュポン」だけでなく日本でもおなじみの食品企業側(GM原料加工メーカーは特に)が、巨額の資金を投じてネガティブキャンペーンを張ります。同じように日本では2013年、食品表示法がつくられる際に実施したパブリックコメントでGM表示に対する消費者の関心が高く、その市民の意見でGM表示について「検討の場を設ける」こととなりました。それはひとつの運動の成果ですが、事業者や関係省庁の抵抗があって、いまだに検討されていません。そうこうしているうちに食品表示基準については結局ほぼこれまで通りで、食品表示法ができる以前とほとんど変わらない状態です。米国と同じでギリギリのところまで食品産業側が抵抗したようです。パブリックコメントがきっかけでGM表示の議論が起こったように、そのような消費者の大きな動きをつくるというのが運動の課題だと考えています。

ビールメーカーへの公開質問

岡 今、どのようなことに取り組みられていますか？
西分 日本は米国産を中心にトウモロコシのほぼ全量を輸入に頼っていますが、米国ではGM作付が93%となっています。トウモロコシを原料とする糖類は表示義務がないこともあり規制緩和により、どんどん承認されており、見えないところでGMOが広がっています。今回(11/5)はビールメーカーに「ビール、発泡酒、第3のビール、清涼飲料水の原材料について」公開質問状を出しました。発泡酒などに糖類が使われていて、現在はNON-GMコーンスターチを使用していますが、日本に輸入している食用のNON-GMトウモロコシの約半分をビール会社が使用していることもあり、NON-GMトウモロコシを守る上で、糖類の原料をこれまで通り維持してもらうことが大変重要だか

らです。
岡 生活クラブは「全農」と提携している米国「パイオニア社」とNON-GMトウモロコシ種子の供給協定を5年間延長しました。「需要がある限り供給する」と応えてもらっていますが、これは生活クラブだけの需要では成立しません。日本全体として需要を示すことが大事ですね。

GM作物を栽培していない日本。 国産作物を食べて守ることが大切

岡 どのような運動展開(展望)をお考えですか？
西分 公開質問だけでなく、集会やシンポジウムでメーカーや関係省庁を招いて、「こんな大変な状況でもNON-GMを使っていないんですよ」と現状を広く発信して維持してもらう働きかけや、みんなで考える場をつくりたいと考えています。世界でGM作物を栽培している所も、もともとは地元の(地域の)農業があり、それぞれの生態系や環境を守っていたはず。それが大きな多国籍企業がひとつの「種」(GM種子)で、農薬を大量に散布して大規模農業をする。そして土地の多様性が失われ生態系も変えてしまい、ダメになったら次に移るということが起こっています。GMの安全性についても重要ですが、(例えば)私たちの健康に害がなければいいではなく、私たちの食方はその土地の環境や働く人たちへ影響し繋がっています。GMを食べるしか仕方がないではなく、日本ではGM作物を栽培していないので、国産のものを食べていくことが大事です。そして農家の人たちとも繋がっていききたいと思い、@フォーラムをつくりました。社会の仕組みを変え、日本の農業(NON-GM)を維持していけるような運動を作っていきたいと考えています。そのために分かりやすく情報発信をして、「食べものを通していろいろ考えていこう」というポジティブな提案で、小さな単位での学習会や料理教室など企画をします。地域の中で多様な団体が増えて、繋がって、全体に運動が広がればと思います。
岡 私たちも生協だけでなく、@フォーラムのような同じ考えをもつ市民団体と沢山繋がり、また日本だけでなく世界とも繋がって、小さな動きが集まり大きな動きを起こしてNON-GMを守りたいです。すべては知ることから始まります。皆に知ってもらう活動を広げていきたいと思っています。